

ちょっと怖かったけど



11月22日 嘉瀬小学校5年生の脱穀体験(JA津軽北部低温倉庫)

知事

とのふれあいトーク



11月21日、県広聴事業の一環として地域住民の県政に対する幅広い意見について、木村守男知事と直接懇談する「知事とのふれあいトーク」が中央公民館で開催されました。

町内から9名が出席し、商業・生活環境・福祉・農業・教育などについて意見や要望を述べ、これらについて木村知事が見解し県担当者が補足説明しました。

日ごろの考えを県政に!

懇談の内容を要約して紹介します。なお、掲載は発言順としています。

◆商店街の現状と今後について



成田 剛寛さん
(金木・会社役員)

【質問】業種を問わない不景気で商店街は衰退しています。支援事業が目に見えて効果をあげるのは難しいということでもありますが、まだ小売店があきらめず努力しているうちに早急な対策をお願いします。

【見解】商店街の活性化のためには、一商店主だけでなく地域商店街全体の努力が必要。商店街に行くことが楽しくなり自然と足が向くために、イベントと販売の結びつきをどう生かしていくのかを制度や事業を活用してその地域にあったものを考え創造性を発揮することだと思つ。

取り組み事業として、空店舗等を活用する活力ある商店街推進事業、高齢者等が利用しやすい街づくりのための事業などがある。その他として県内小売業者を支援する小売商業支援センターを活用していただきたい。県としては今後とも市町村、商工会、さらには市民団体などと連携しながら引き続き商店街の活性化に努める。

◆県道屏風山内真部線の 通年通行について



津田美智子さん
(嘉瀬・主婦)

【質問】観光立町を宣言している金木町ですが、隣接している青森市と金木町を結ぶ県道屏風山内真部線が冬期間閉鎖となることから、観光や通勤などに支障をきたしています。いろいろな問題もあると思いますが通年通行をお願いします。

【見解】県道屏風山内真部線の現況は急勾配急カーブが連続する山岳道路なので、十一月から三月まで閉鎖している状況ですが、今年の冬から冬期通行の可能性について気象状況、道路構造状況、その他沿道状況などの調査を行います。今後はこの結果をもとに取り組み内容を検討します。

また、当面は今取り組んでいる閉鎖期間の短縮に努め、将来は試験除雪を行い通行可能かどうかを検討していきたい。

◆相談しやすい 環境づくりについて



松橋 典子さん
(金木・会社役員)

【質問】きびしい雇用状況の中で平成十四年から実施したワーキングシェアリングの現状と今後の計画について知りたい。若い人たちの職がなければ町全体の活性

◆ワーキングシェアリング 実施について



前田 正廣さん
(神原・農業)

児童福祉のみならず保健医療保育など各分野が連携し対応することが必要となってきたおり、関係機関が同一庁舎にある場合はこの連携が図りやすいという利点をいかしながら、相談者が合同庁舎でなくても安心して相談できる環境づくりに努める。

【質問】悩みながら子育てをしている親の一人として児童相談所五所川原支所は待ち望んでいます。しかし、悩みを抱えた親や子が出向くには、現在の支所では役所的すぎます。合同庁舎ではなく分離した、安心して相談しやすい環境へと移行できないものか。

化が図れないで、その対策をお願いしたい。

【見解】高校生の就職問題が特に深刻化しているの受け、県内民間企業に採用枠の拡大をお願いしつつ、県の雇用措置の一つの手法としてワークシェアリングを導入している。これは新規高卒予定者のうち県内就職を希望して採用が決まっていけない人を県の行政実務嘱託員として採用し経験を積み成長してもらい、民間企業の就職へつなげていく制度として、今年度は本庁四十九名、出先機関八十一名を採用した。この嘱託員は一年間の任用期間の更新が可能で希望すれば来年度引き続き採用となる。平成十五年度にも新採用を考えている。

◆農業の後継者について



一喜さん
岡田 (喜良市・農業)

【質問】私たちの地域では四十五歳の男子を最後に専業農家の後継者が就農していません。これからの農業を守るためにも、後継者を育て、やる気の起る農業になるような政策をお願いしたい。

【見解】後継者を育てるための環境づくりが必要だと考える。今

携わっている人たちが創造性を発揮し意欲を持って取り組み、集落環境や家庭環境の中での話し合いで個々の考えを出し合い集約していく中で後継者が育っていくのではないかと。そのため県では育成のための各種講習会の開催、新規就農者への無利子資金の融資や農地取得に対する助成、今年度から休日に農業の基礎を学べる青森就農準備スクールを開設し他産業からの就職促進に努めている。

また、農業所得向上のために、農産物加工や直売などに支援している。さらに冬場の就業機会拡大を目指して温泉熱や雪などの地域エネルギーを利用する冬の農業の推進に取り組んでいる。

◆森田支場養鶏科の跡地利用について



仁さん
佐井川 (金木・農業)

【質問】金木町では養鶏科跡地に新規就農者研修施設を計画しています。新規就農者が農業に入りやすい環境を作るためにも新規就農者研修施設の早期実現のための支援をお願いしたい。

【見解】鳴海町長が施設設置に非常に強い意欲をもっているため、必要なことは連携してぜひ生かしてほしい。期待しています。なお、金木町では跡地を整備

するために農業農村総合施設計画を立てており、この施策を実現するためには補助事業の活用等も考えられるので、金木町の意向を踏まえて対応していきたい。

◆特例雇用保険について



利幸さん
泉谷 (川倉・農業)

【質問】ハローワーク調べで年間事業として、六十歳から六十五歳の雇用に対して助成がありますが、私たち農業者に対しても六十歳台の雇用の援助と特別雇用保険制度の推進をお願いしたい。

【見解】厚生労働省の各種助成金の一つとして、季節雇用された労働者が失業した場合に特例の一時金が支給される制度や、事業主に対して就職が特に困難な高齢者を新規雇用した場合に賃金の一部を助成する制度などがある。この制度を活用するにはハローワーク等にその条件等を十分相談し活用していただきたい。特例雇用保険の特例について、関係機関が一同に会する雇用連絡協議会の場で国に対してさらなる特例雇用保険の充実について要望していきたい。また、県の事業としてリスト

ラされた方や倒産で職を失った方の生活資金を、上限百万円で五年間低利で融資する離職者サポート資金という制度がある。さらに冬の農業を通して高齢者を雇用する場合は、年間を通しての雇用が必要となるので、県としてもなるべく冬の農業の推進を通して高齢者の雇用を推進していく。

◆学校五日制での地域への支援について



司さん
齊藤 (嘉瀬・自営業)

【質問】学校五日制が始まり土日の子どもが過し方が大きな問題となっている。子どもたちの受け皿になる活動を進めているが、協力者への時間的負担、活動費の不足などこれから子どもたちとふれあう場を広げていくには数多くの問題があります。子どもを応援する地域活動への支援など、どのように進められているのか。

【見解】県では児童生徒と地域の人との交流や体験活動を推進するためのモデル事業を指定する豊かな体験活動推進事業に取り組んでおり、今年度は金木町が指定される小・中・高校において地域の特徴を生かした授業が実施されている。また、青少年に社会性や思い

やりなど豊かな人間性を育むため、地域の教育力を活性化し奉仕活動や体験活動の充実を図るための推進体制を三年間で全市町村に整備することとしている。

◆学校五日制に関連して



栄さん
金澤 (嘉瀬・団体職員)

【質問】学校五日制に伴う学校体育館などの施設開放に係る講師等の人件費の助成金について伺いたい。また、これに関連して学校図書の実践に対する県の方策を聞きたい。

【見解】地域社会教育関係団体が主催し、市町村教育委員会が主催・後援する生涯学習について、要望に応じて県が謝金を負担して指導者を派遣し地域学習活動を支援している。また、スポーツ教室等の講師謝礼金については、スポーツ振興くじ助成金を活用するよう働きかけている。鈴木健二先生より青森県の学校図書は時代にあつた子供の本が不足しており非常に弱いの提言から、学校図書の整備を図る際に図書標準を達成するよう市町村教育委員会に通知し協力を求めつつ、学校図書のあり方を再認識し特殊活動の幅を広げる環境づくりの促進に努める。

勲五等瑞宝章

鳴海 昭治氏



受章に係る主な経歴

保護司委嘱
自 昭和44年9月2日
至 現在
青森県知事感謝状
平成2年7月6日受賞
全国保護司連盟会長表彰
平成3年10月9日
金木町褒賞
平成5年3月23日
法務大臣表彰
平成7年10月6日

藍綬褒章

葛西 文昭氏



受章に係る主な経歴

金木地区交通安全協会会長
兼交通指導隊総隊長
自 平成3年2月25日
至 現在
（財）青森県交通安全協会理事
自 平成3年5月29日
至 現在
青森県警察本部長表彰
平成9年1月28日
警察庁長官・全日本協会
長連名表彰「緑十字金章」
平成13年1月16日

勲六等単光旭日章

長尾 甚五郎氏



受章に係る主な経歴

金木職業訓練協会理事
自 昭和48年5月10日
至 現在
金木職業訓練協会会長
自 昭和50年5月10日
至 平成元年8月6日
東北職業訓練協議会長表彰
昭和53年6月2日
中央職業能力開発協会会長表彰
昭和60年11月27日
労働大臣表彰
昭和61年11月20日

勲六等単光旭日章

工藤 義光氏



受章に係る主な経歴

金木町消防団分団長
自 昭和58年4月1日
至 平成3年1月10日
金木町消防団副団長
自 平成3年1月11日
至 平成7年1月10日
日本消防協会会長精績賞
昭和63年2月10日
日本消防協会会長功績賞
平成4年2月13日
消防庁長官永年勤続功労賞
平成4年3月4日

叙勲・褒賞合同祝賀会

祝賀会では約二百名の方が出席して、鳴海町長から受章の記念品贈呈、津軽三味線の記念演奏などが行われ四氏の受章を祝いました。

「勲五等瑞宝章」を受章しました。鳴海昭治氏が更生保護功勞の功績で「勲五等瑞宝章」を受章しました。



「藍綬褒章」を受章。さらに秋の叙勲で鳴海昭治氏が更生保護功勞の功績で「勲五等瑞宝章」を受章しました。

今年の春と秋の叙勲・褒章で工藤義光氏、長尾甚五郎氏、葛西文昭氏、鳴海昭治氏の四氏が各章を受章されたのを記念して十二月十二日、中央公民館で受章合同祝賀会が開催されました。

春の叙勲で工藤義光氏が消防功勞の功績により、長尾甚五郎氏は職業訓練功勞の功績でお二人とも勲六等単光旭日章を受章。また、秋の褒賞で葛西文昭氏が交通安全の功績により

おめでとうございます

農林水産大臣感謝状伝達式



農林水産大臣感謝状伝達式

農林水産業の統計調査などに長年協力した方々に対する農林水産大臣感謝状伝達式が11月18日、青森市の青森グランドホテルで行われました。金木町からは金木の長尾久雄氏、蒔田の吉田意智男氏の2人が受章されました。

「父親から引き継ぎ25年。データが役立っていると思うとやった甲斐があった」と話す吉田氏。



「正確な数値を出して農業のために、25年間がんばってききました」と話す長尾氏。



生産調整協力奨励券交付

今年で3回目となる平成14年度生産調整協力奨励券が11月25日から3日間、町内各地区に分かれて交付されました。

交付申請に訪れた農家の方は「生活費に使用して大変助かっている。転作の補助も低くなることから少しでも長く続けてほしい」と稲作の厳しい現状を話していました。

交付対象者は651人で、総額9,907,000円が交付されますが、約1割の方が受け取りにきていないとのこと。使用期限は3月31日までですのでお早めに。



議員研修報告

平成14年度の議員研修が8月28～30日にかけて、全国で2ヶ所しかない町名が同じ呼び名の鳥根県かなぎ金城町を訪問して行われました。

金城町役場を訪れた鳴海町長と三渦議長ら14人は、安藤金城町長らの出迎えを受け応接室において、両町長ともあいさつの中でさらなる交流を深めることを確認しました。

金城町では、金城ニュータウンきんたの森という172区画の温泉付宅地分譲地、約5,200人の町民全員が入れる金城総合体育館、かなぎウエスタンライディングパーク（乗馬施設で夏休期間子供達が馬の世話をしている）などを視察し、施設管理や運営方法などを研修しました。



お便り
コーナー

東京ふるさと金木会

Vol.5

埼玉県志木市に在住し、本会の常任理事を務めている金木出身の越野カネ（旧姓下田）さんのお便りを紹介します。

広報かなぎ「金木川はらん」を見て驚いています。

私は川端町出身なので子どもの頃はよく大洪水がありました。水害にあわれた方々に、お見舞い申し上げます。

私は今、東京ふるさと会の役員をしています。朝、家を出て会社へ、夕方家に帰るワンパターンの生活を送っていましたが、金木会に入会してから生活が変わりました。

役員会、東京の花見会、ふるさと訪問芦野公園の花見、歌謡ショー、同期会、金木高校同窓会、ふるさと会忘年会、等々会が開催される日を楽しみに仕事をするようになりました。顔なじみになったふるさとの人たちと、飲んで食べて楽しく過し元気ももらっています。

首都圏に知人友人のいる方、ぜひ金木会のことを知らせてください。金木会会員も集合して津軽弁で話こましょ。

東京ふるさと金木会会則第1条「ふるさと金木町の限りない発展に寄与する」ことを目的とする。私に何ができる？私の生まれ育ったふるさと金木町が、少しでも潤うように町の有志の皆さんで計画していただいて、金木町を出た皆様と一緒に金木町の活性化に役立つといいなあ、と思う。

来年は金木高校卒業以来会ってない同級生たちにあつて、友好をあためたいと思っています。今は夫と子ども3人で埼玉県志木市に住んでいます。



理事会々場で
下田さん(左側)と杉山久子さん

ふるさとの皆さん。関東在住の金木町出身者をご紹介ください。

【東京ふるさと金木会事務局】 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-3-22 加藤税理士事務所内
事務局長 加藤 一治 TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171